

二中コミュニティ・スクールだより

～市川市立第二中学校学校運営協議会～
「夢・命・絆」

令和5年度第1号
(通算第16号)
会長 小林 俊之
(文責 野手 裕之)

「令和5年度第1回学校運営協議会」報告

令和5年5月26日(金)に、令和5年度第1回学校運営協議会が、第二中学校多目的室において委員10名の出席のもとで開催されました。

次第

1. 学校長あいさつ
2. 委員の任命、自己紹介、会長・副会長選出
3. 協議
・令和5年度学校運営についての基本方針の承認及び意見
4. 報告および意見交換
(1) 教育活動及び学校の様子
5. その他

1. 学校長あいさつ

協議に先立ち、杉山校長から、「4月から着任しました。日頃より、本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。また、委員を引き受けて頂き感謝しております。歴代の校長からも励ましの言葉を頂戴しておりますが、これからも、支えて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。」と、あいさつがありました。

2. 委員の任命ならびに会長・副会長の選出

市川市教育委員会学校地域連携推進課から委員の任命があり、右記の13名が令和5年度学校運営協議会委員として任命されました。各委員から自己紹介の後に、会長と副会長の選出がありました。会長に小林氏、副会長に黒木氏が選出されました。

小林会長より、「引き続き、会長を引き受けさせていただくことになりました。二中学生が明るく健やかに成長できればと思います。皆様のお力をお借りして、会長として頑張っていきたいと思っております。」とのあいさつがありました。



市川市立第二中学校学校運営協議会委員

小林 俊之	真間地区自治会連合会会長
松藤 恒夫	須和田第三自治会会長
関根 功子	民生委員・児童委員
齋藤 康	市川市立第二中学校同窓会会長
谷口 俊晴	二中PTA副会長
杉山 智恵子	前二中PTA副会長
野手 裕之	地域学校協働活動推進員
江戸 正人	地域学校協働活動推進員
黒木 政継	元市川市立第一中学校校長
久保田 哲也	千葉県立市川昂高校教頭
杉山 哲	二中校長
飯野 智之	二中教頭
溝口 浩司	二中教務主任

3. 協議

令和5年度の最初の学校運営協議会のため、学校運営方針について杉山校長から説明があり、その後、審議をし、全会一致で承認されました。詳しくは3ページ以降。

二中ブロック地域学校協働活動「みまもりたい」

二中ブロックでは、外環自動車道及び国道298号線の開通をきっかけに地域学校協働活動として見守り活動をしてきました。この活動が、令和5年2月に「令和4年度『コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進』に係る文部科学大臣表彰」を受けました。

それを受けて、3月22日に、田中教育長を表敬訪問しました(下、写真)。



また、5月24日(水)に、自由民主党コミュニティ・スクール推進拡充議員連盟から堂故茂事務局長ら、文部科学省から里見大臣官房審議官ら、千葉県教育委員会から杉野教育次長ら、市川市教育委員会から田中教育長らが、視察にお越しになり、取り組みの説明や意見交換がありました。



★生徒が主役の素敵な生徒集会★

5月13日(土)に生徒集会が生徒会を中心に行われました。天候不順で校庭で開催できませんでしたが、体育館と各教室で大変盛り上がりしていました。

先生たちは若干のサポートのみで、生徒がまさに主体となって企画・運営をして、生徒も先生も楽しそうに過ごしていた素敵な生徒集会でした。



令和5年度「学校運営（経営）の基本方針」

（1）学校教育目標を実現する生徒像・学校像（目指す学校像）



目指す生徒像

目指す学校像（経営重点）

夢	夢に向かっていく生徒	夢の実現への力を育む学校
命	命を大切に作る生徒	命を大切に作る心を育む学校
絆	絆を互いに深め合う生徒	生徒、教職員、保護者地域、住民が信頼の絆で結ばれるチーム学校

（2）目指す学校像を実現するための具体的な取り組み

①令和5年度の目指す方向

主体的な学び、主体的な活動を推進するための変革と協働

②夢の実現への力を育む学校

◇確かな学力→「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

・個別最適な学び…指導の個別化（特性や学習進度に応じた指導）と学習の個別化（一人一人に応じた学習活動の提供）

・協働的な学び…（孤立した学びに陥らないように）生徒同士や多様な他者との協働と（集団の中で個が埋没しないように）一人一人の良い点や可能性を生かす取り組み

◇これまでの実践とICTの最適な組み合わせの実現（キュビナAIの導入など）

③命を大切に作る心を育む学校

◇豊かな心

→自己肯定感・自己有用感の向上→生徒の主体的な活動の推進

→よりよく生きるための基盤となる道徳性の涵養（ネットリテラシーの取組など）

◇健やかな体→規則正しい生活習慣の確立（アウトメディアの取組）と体力向上の推進

④生徒、教職員、保護者、地域住民が信頼の絆で結ばれるチーム学校

◇信頼される学校（情報発信と情報共有の一層の充実→二中ブログを開始）

◇絆を深め合う生徒（多様性を認め、尊重しあう意識の確立）

（3）委員からの意見など

委員から次のような意見や要望（一部）がありました。

- ◆引き続き、「夢・命・絆」という素敵な学校教育目標をベースにして欲しい。
- ◆学校での生徒の様子を発信していただきたいと思います。
- ◆単元テストで日々の学習が身についているように感じています。
- ◆情報発信のより一層の充実を進めて欲しい。
- ◆ブログの活用はいいと思います。
- ◆これまでの先進的な取り組みを推進して欲しい。
- ◆教育課程における保護者や子どもたちの意見を取り入れて改善を進めて欲しい。

4. 報告及び意見交換

（1）教育活動及び学校の様子について

令和5年度の教育活動に関して、飯野教頭から報告がありました。

コロナ前の教育に戻したいと考えております。マスクを外す子が徐々に増えてきている状況です。

6月3日に開催を予定している体育祭の練習が始まりました。生徒たちは、とても元気に取り組んでいます。

市川市PTA連絡協議会 「オリエンテーション」

5月16日（火）に、教育会館において、市川市PTA連絡協議会「オリエンテーション」が開催され、市内各校の単位PTAから副会長、会計、書記の方が集まって意見交換などを行いました。

多くの参加者が「満足」ということでした。「時間が足りない」という意見があるほど有意義な時間であったと思います。この活動を通じて、「より楽しいPTA」として活動して行って欲しいと感じました。



市川版コミュニティ・スクールについて

「すべては子どもたちのために」、そして、「子どもは地域の宝、地域みんなで育てよう」という志向のもとで、【地域と学校をつなぎ、みんなで子どもを育てる学校と地域の連携体制】が、市川版コミュニティ・スクール（学校運営協議会+地域学校協働本部）です。

中央教育審議会の「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）」（平成27年12月）は、コミュニティ・スクールの子どもたちにとっての魅力として、「信頼できる大人と多くの関わりを持ち、愛情を注がれることにより、自己肯定感や他人を思いやる心など、豊かな心が育まれる。」と指摘していますが、さまざまな機会を通じて、たくさんの大人が子どもたちとかかわるは非常に重要であると思います¹。

¹ 日本学術会議（心理学・教育学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会）が公表した「我が国の子どもの成育環境の改善にむけてー成育コミュニティの課題と提言ー」（平成29年5月23日）においても、「多くの大人が子どもの育ちに温かく関わり、子どもが大人と交流しながら成長できるような社会的環境を整備する必要がある。」と指摘しています。